

元村南自治会防犯ニュース

編集・発行
元村南自治会
防犯部

県内特殊詐欺最近の発生傾向

電話で、「警察」「検察」をかたる

事案の簡記

手口は、自宅電話に着信があって相手と話している間に、相手が警察官や検察官をかたる者に交代する。警察官は、今「逮捕している暴力団が、あなた名義の口座を利用し不法収益の出所を隠して捜査機関の発見をのがれようとしている。」あなたも容疑者の一人だ」「無実証明を優先して調査するので個人情報教えてほしい」と貯金の金額や資産を尋ね貯金を解約して一つの銀行に集約しATMを使い現金を引き出すことを指示される。

金（ゴールド）を購入させられる

事案の簡記

手口は、警察官になりすまし電話で「逮捕した容疑者があなたの電話番号や口座を持っている」ので、あなたも容疑者も一人として疑われている。犯罪で得た現金か確認するので、金（ゴールド）を購入するよう指示される。

被害防止のポイント

- 1 警察官、検察官など公的機関の職員が、
 - 「国際電話番号、非通知電話」をかける、「SNSメッセージ機能やアプリ通信」を利用しての連絡は絶対ない。
 - 「預金残高の確認」や「金（ゴールド）の購入」をさせることは絶対ない。
- 2 「非通知」や「知らない電話番号」には出ない。
電話番号の始まりに「^{ふらす}+がついている」「010から始まっている」電話は、国際（外国）電話で出ないこと。
もし出てしまったら、話しをせずすぐ切ること。